

50th

令和5年度12月号臨時増刊号 [12月22日(発行)]

校訓 自主・協同・創造



岸川中だより

川口市立岸川中学校
川口市安行領根岸374番地の1
TEL268-4506 FAX268-4761
特別支援学級 TEL268-7110
さわやか相談室TEL268-4510
<https://kishikawa.official.jp>

「次 行ってみよう〜！」

校長 松田 隆幸

だいたい、この台詞の前は、「ダメだこりゃ！」となるのですが、ウチの場合は、ぜんぜん「ダメだ、、、」ではありませんでした。

令和5年の2学期が終わります。1年生では、職業体験、2年生では水上自然教室、1・2年生では、市民体育祭。全校規模では体育祭、駅伝大会、50周年記念式典、合唱コンクール、、、どの行事も大きな成果を収めてくれました。行事の合間に中間試験・期末試験・実力テスト等々。行事の合間の勉強にはならなかった。ここがすごかったところ。行事に流されるのが多いところでしたが、先生方のご指導よろしく、お勉強も頑張った。いろいろなところで、「成果」が出てきた学期であったと言えるところです。「ダメだこりゃ！」ではない、「いいんじゃないーい?!」(KFC の様に!)が今年の岸川中の台詞であることから、3学期の成果も楽しみにしているところです。

いよいよ締めくくりの3学期ももうすぐですが、その前に、年末年始の楽しい年中行事もたくさん。「ダメだこりゃ！」の年末年始にならないことを期待しつつ、「さあ、次 行ってみよう〜」

「次行ってみよう！」の岸川中のご案内

1月17日(水)は川口市教育委員会委嘱「学力向上」に関する研究の発表会を開催いたします。2年間にわたり、聖心女子大学教授・国立教育政策研究所フェロー・教育環境デザイン研究所理事の益川 弘如 様のご指導を受けながら、ICT 機器を効果的に活用して、生徒の学力を伸ばそうとする研究を行ってきました。

どこの学校でも、先生によっては、ICT 機器を導入しやすい教科の先生や ICT 機器の知識・操作に長けている先生・苦手としている先生等々がいます。岸川中学校もその通りなのですが、その差は小さく、どこよりも早く授業実践に導入した経緯もあることから、この研究に挑戦してみようということになりました。コロナ禍で、分散登校を余儀なくされたときも、GIGA スクール端末の有効活用で、授業を停滞させることなく、学びを担保で来たこと。一足早く実践導入したことで、先生方の慣れるまでの時間が早かったこと、学校に来られない生徒向けの指導を充実させるために不可欠なツールであったこと、そして何より、勉強熱心で、生徒を思う先生方の熱意が結実して、本校では、ICT を活用して、学力向上が図られています。今回はその一面を発表させていただきます。経験豊富な先生方ばかりではない岸川中は、それがまた強みでもあります。新しいものに挑戦し、吸収し、改善し、自分のモノにする。今回は、そんな研究になったと思っています。

当日は、他の市からの参観者もいて、保護者の皆様による教室での授業参観は、大変混雑が予想されるため、叶いません。しかし、ご指導いただいております、益川教授のご講演はお聞きいただけます。そこで、保護者の皆様には本日、紙媒体にて講演会参加のご案内(ご講演タイトル・受付時間等)を配布していますのでご確認ください。

さあ！ 次のステージに向けて、岸川中学校！ 次 行ってみよう〜！

令和5年度全国健康づくり推進学校最優秀校を受賞しました

2023 Kishikawa.J.H.S 50th ANNIVERSARY

